

見どころ案内

見どころ案内・青谷八勝
の詳細はこちら→



- | | | | | | |
|----------|--------|---|---------|--------|---|
| ■ 中天満神社 | 散策道マップ | Ⓐ | ■ 粟神社 | 散策道マップ | Ⓔ |
| ■ 龍福寺 | 散策道マップ | Ⓑ | ■ 堂山見晴台 | 散策道マップ | Ⓕ |
| ■ 市辺天満神社 | 散策道マップ | Ⓒ | ■ 天山散策道 | 散策道マップ | Ⓖ |
| ■ 西生寺 | 散策道マップ | Ⓓ | ■ 城山梅林 | 散策道マップ | Ⓗ |



← 中天満神社



↑ 市辺天満神社



↑ 天山散策道

歴史

青谷梅林は、青谷地区東方の丘陵地を占め、天山を中心として北の播磨崎・堂山・南の石神・百間場にわたって存在し、さらに青谷川をへだててその南の大谷・白坂に及んでおり老樹古木をまじえて数万本の梅樹が群生していたと伝えられている。

起源について明らかではないが、鎌倉時代末期には梅林があったとの説もある。

江戸時代には梅樹栽培が奨励され、大いに植樹されたと『青谷村誌』に伝えられている。

明治31年（1898年）青谷保勝会を設立して梅林の保護と宣伝につとめてから、花見客は多くなり、名勝地となった。

特徴

青谷地域のおよそ20ヘクタールの面積では、青谷梅林特産の肉厚で香りの良い『城州白』を中心に白加賀、青軸、鶯宿、玉英などが、毎年6月から7月にかけて収穫される。

また、2月下旬から3月中旬に見頃を迎え、多くの観梅客でにぎわう。